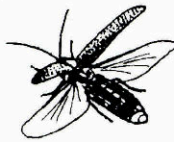


ゲンジボタルの一生

成虫

5月下旬～6月に地上に出てくる。高く飛んでいるのはほとんどオスで、メスは草や木の葉にじっとしている。

成虫は何も食べず、水だけで生活しているのので1週間ほどで一生を終える。



卵



6月～7月、川岸の水面に近く、日中でもほとんど日の当たらないコケに産みつける。1匹で約500～1,000個の卵を産む。

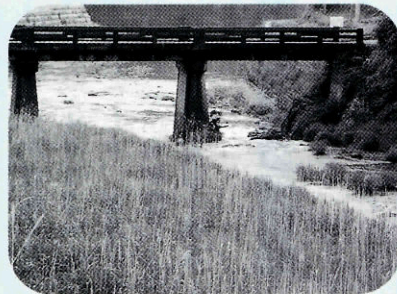
卵の大きさは約0.5ミリで、約1か月でふ化する。

さなぎ

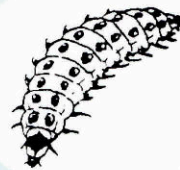


約3センチになった幼虫は、4～5月の雨の降る夜に川岸にはい上がり、土の中にもぐって土まゆを作る。

2、3週間たつとさなぎになり、もう2、3週間で成虫になる。



幼虫



幼虫時代が一生のうち大部分をしめる。生まれるとすぐ水の中に入り、7月半ば～翌年4月半ばの約9か月間水中生活をする。

昼間は石の下などにおいて、夜になると活動しカワニナを食べて育ち、6回の脱皮をする。

ホタルを観賞する
人のために

☆いつごろ

6月中旬～下旬

午後8時～10時頃

☆どんな日

あたたかく風のない日

月の出ていない暗い日

☆ところは

依山地区の各河川

湯本地区(音信川・大寧寺

川・大河内川)

☆注意してください

蛇などがいて危険なので、草

むらには入らないでください。

国の天然記念物であり、捕獲

は禁止されています。

ホタル十口メモ

○なぜ光るの？

ホタルが光るのは酵素によるもので、ルシフェリンとルシフェラーゼという酵素が働くことにより光を出します。この光は熱くありません。ゲンジボタルは卵や幼虫、さなぎのときも光を出しています。

○なんのために光るの？

オスとメスでは光り方や強さが違います。オスは強く点滅しながら飛び回りますが、メスはじっとして弱く光ります。オスはメスを見つけると強く光ります。これは求愛の信号です。光は出合いの信号なのです。